

# News!

## 医療分野での活用が広がる メディカルイラストレーション

メディカルイラストレーションをご存知ですか？写真や肉眼ではわからない人体構造も、メディカルイラストレーションによって、視覚的にわかりやすく伝えることができます。ホスピタルデザイン研究会では、会員の皆さまと一緒にメディカルイラストレーションに関する学びも深めています。これまで、医学講習用テキストや患者説明のための3Dモデル、医学的説明資料などで本研究会の監事が指導・監修したメディカルイラストレーションが活用されています。



### 会員募集

ホスピタルデザインを共に深めていただける会員を、随時募集中です。

#### 会員特典

- 研究会への出席・発表
- 講演会、研修会、セミナー等への参加
- 会報の送付及び最新の関連情報を提供

#### 年会費

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 団体会員…10,000円 | 一般会員…3,000円 |
| 賛助会員…2,000円  | 学生会員…1,000円 |

年会費は、初年度は入会時、次年度以降は8月末までに下記の口座までお振込みください。

中国銀行 川崎学園出張所  
普通口座 1316506  
口座名義 ホスピタルデザイン研究会

#### 入会の手続き

下記の内容を記載の上、メールにてご連絡ください。  
[hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp](mailto:hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp)

- ① 会員の種類  
(団体会員・一般会員・賛助会員・学生会員)
  - ② 入会される方の氏名  
(団体名の場合は代表者と担当者の氏名の記載をお願いします)
  - ③ 所属  
(学生会員の場合は学校名の後に学生と必ず書いてください)
  - ④ 郵便番号・住所
  - ⑤ 電話番号または携帯電話番号
  - ⑥ FAX番号
  - ⑦ メールアドレス
- ※④～⑦については、必ず名簿掲載の可否を明記してください。

### Patio (会員のひろば)

会員の皆様からの情報・つぶやきを  
発信します。皆さまの投稿を受付中！

「デザインは問題解決である」これは医療福祉デザインを学び、一番印象に残っている言葉です。  
見た目が格好いい、色が派手、ということだけでなく、問題に対してどのような形で、どうやってターゲットに発信するのか？相手に伝えることを考えながらデザインすることの大切さを忘れないように、これからも頑張りたいです。

(倉敷リハビリテーション病院 庶務課 山崎 泉)

皆さまの声を  
大募集！

お気軽にご応募ください！  
様々なご意見をお待ちしています。

#### 実践REPORT募集

「実践レポート」と称して、ホスピタルデザインの現場における取り組みをご紹介いたします。最先端の事例を共有し、今後のデザインの方向性について議論を深めましょう。

原稿はメールでお送りください。

[hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp](mailto:hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp)

【形式】  
・タイトル及び本文  
400字程度  
※Wordにて作成してください。  
・写真データ 10枚まで

#### 編集後記

『ホスピタルデザインNEWS』第9号をお届けいたします。コロナ禍による制限があるなかでも、さまざまな角度からの創意工夫がみられるバリエーションの豊かな内容となりました。原稿をお寄せくださった皆さまにお礼申し上げます。また、本研究会は2年後に10周年を迎えます。記念事業を企画しているところですので、会員の皆様にもご意見などお寄せいただけますと幸いです。

(合田)

#### お問い合わせ先



ホスピタルデザイン研究会  
Hospital Design Research Association



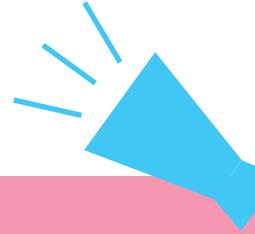
川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科内  
ホスピタルデザイン研究会事務局(合田・森)  
email :[hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp](mailto:hospital-design@mw.kawasaki-m.ac.jp)  
電話:086-462-1111(ex.54356)

ホスピタルデザインNEWS! 発行日/2022年7月1日 発行/ホスピタルデザイン研究会

選ばれる病院のためのアップデートマガジン

# ホスピタルデザイン NEWS!

Vol.  
9  
2022  
JULY



## Contents

### フロンティア

ネットクリエイツ株式会社

### 実践REPORT

調布東山病院

### 特別講演

岡山博愛会病院

### Focus on!

日下部記念病院

### がんばれ 認定医療デザイナー

松波総合病院

### News!

## 変化から進化へ、 病院広報の展開

かつて本誌でも特集で取り上げたイベントによる広報活動は、新型コロナウイルスの影響により、実施自体が叶わない、あるいは感染対策を行ったうえでの実施、となっているのが現状ではないかと思われます。この数年、広報のあり方自体も変わらざるを得ず、どのように変化していくべきか試行錯誤

している病院も多くおられるかもしれません。本号のテーマは、第9回研究大会と同様、「変化から進化へ、病院広報の展開」としました。それぞれの病院で工夫されている取組が今後の広報の進化へのヒントになれば幸いです。

(事務局長 合田)

がんばれ  
認定医療  
デザイナー



病院の先進的な取組みをご紹介します！

## フロンティア

### 健康でエンジョイなまちづくり 新しい病院広報～患者様向け病院スマホアプリ開発～

経営企画室 室長  
ネットクリエイツ株式会社 中谷 泰久

ネットクリエイツでは医療機関150施設以上にコンテンツ制作、システム導入開発、ネットワークセキュリティ対策のソリューションを組み合わせたトータルマネジメントをご提供しています。

第9回研究大会では患者様向け病院スマホアプリ開発について岡山旭東病院様の「旭東San」アプリ共同開発を事例として発表させていただきました。弊社の病院スマホアプリ開発は患者様目線、スタッフ様目線でヒアリングしながらオーダーメード開発しています。各都道府県の医療計画に基づいて運営されている病院の特徴特色に合った機能と一緒に考えながら患者様のためのアプリ開発を進めていきます。

待ち時間対策、待ち時間有効活用、院内感染対策、受診負担軽減、キャッシュレス、健康ポイント付与、オンライン活用など満足度向上とともにエンジョイなことも企画可能です。

医療経営の取組みとしては地域包括ケア、ICT、DX、SDGS、地域医療連携、ペーパーレス、非接触対策など増患増収対策やコスト削



高齢の方にもご好評  
旭東Sanアプリ



いいつながりは、  
ちょっといい一日を  
つくります。

net creates co.  
Your smile, Our passion

減に繋がります。今後も病院、行政、企業が交流できる仕組みを検討しながら、地域包括ケアと地域活性化の健康でエンジョイなまちづくりのために有形無形のホスピタルデザインに挑戦していきます。

## 特別講演

### 病院の未来をデザインする

～「デザイン」は誰を幸せにするためのものでしょうか？～

社会福祉法人 岡山博愛会 事務局長  
岡山博愛会病院 三宅 謙太郎

病院の中で“人ととのつながりをデザインする”ためには、患者、職員がまだ気づいていないイノベーションを発見し、新しいサービスを創造し、提供することが必要です。

5年前、当院は赤字経営でした。「変わるのは今だ！」という意思をもって、医療・介護サービスの領域において過去の延長ではないイノベーションをデザインし変革を求めてきました。マグネットホスピタルを目指し、患者からだけでなく、病院で働いている医療従事者からも求められる病院になるために、安定した病院の経営をデザインし、選ばれる病院であり続けることが必要なのです。

スタッフ間の業務支援を考慮した、明るくわかりやすい空間づくりや、外に発信することにも力を注ぎました。そこにはデザインスタッフのスキルも必要でした。当院の弱みであった、人・モノ・金の不足に対する変革と未來のデザインしたことにより、現在の病院運営につながっています。



## がんばれ 認定医療 デザイナー

社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院  
総務部広報課  
川之上 佳里



私は広報課で、病院広報に関わる業務に携わっています。主な業務は、広報物の作成、ホームページ等の更新、医療イベント企画・運営などを担当しています。広報課の役割は、病院と地域との“仲介”となり情報発信を行うことです。例えば、病院が発信したい病気や治療の情報は、専門用語が多く複雑で分かり辛いことがあります。そこで私の出番です。患者さんの目線に立って、理解しやすい言葉に変換する、図やイラストで表現するなど、「伝わる」広報を意識して作成しています。また作成だけでなく、アプローチしたい対象に合わせてどの媒体・形式で発信すると、より効果的かを考え方針提案なども行っています。

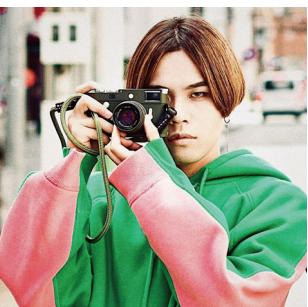


## 病院を輝かせるスタッフに注目！

### FOCUS ON! フォーカスオン！

#### 広報をRethinkして病院を変える

当院ではコロナ禍の厳しい経営状況の再建手段の要として広報を“Rethink”(再考)しました。コロナの影響は収益減少といった可視化できる問題だけでなく、深刻化すれば病院のブランド価値の低下に繋がることも危惧されました。短期的な数値目標はマーケティング的な見直しで改善を図りつつ、後者の目に見えない影に対してはブランド戦略的な広報活動を開きました。広報誌のデザインを一新するなどビジュアル面のアップデートだけでなく、「かけがえのない今をのこそう」というコンセプトのデイケア利用者の写真撮影会、院内外での写真展、病院紹介ムービーなど医療人としての本質に迫るような様々なコンテンツを打ち出しました。現場の職員を紹介する「病院を支える者たち」という企画では、「病院=専門職」といったステレオタイプを打破する狙いもあり、デイケア送迎のドライバーなど、あえて医療専門職以外の職員にスポットを当てました。外部への効果だけでなく職員のモチベーションアップなど組織内部にも好影響を与えるました。こうした副次的效果を得られるのも広報活動の醍醐味です。広報は外部への発信だけでなく内部の魅力を探す活動もあります。自分たちの組織のパーサス(存在意義)やコアバリュー(価値観)を再確認できる最も効果的な手段が広報であり、それこそが病院を変えると信じています。



## 実践 REPORT

### 地域連携室と広報課の 協働で増患に貢献

経営本部広報課  
医療法人社団 東山会 調布東山病院 森口 摂

広報課では地域連携室と協働し、来院患者の現状把握、再生認知患者・紹介患者・継続受診患者の増患策に取り組んでいます。

2021年度には、よりタイムリーに院内の状況や情報を届けるため、医療機関向け広報誌の発行頻度を増やすとともに、ページ数を減らすことで目を通しやすくしました。並行してウェブサイトもリニューアルし、操作性改善とともに、地域の中での役割や目指していることをわかるようにしました。

また、紹介・継続受診につなげるため、医師の顔や得意分野、実績等を載せた書類を作成。医師同士や事務とも共通認識が得やすくなるなどの効果がありました。年間紹介件数も2020年度5,540件に対し2021年度は6,039件になり499件増えました(当院は急性期一般83床)。日々変化する状況に対応した渉外・広報を展開しやすくなったことで増患に貢献できたと考えています。



## 病院の未来をデザインする

～「デザイン」は誰を幸せにするためのものでしょうか？～

社会福祉法人 岡山博愛会 事務局長  
岡山博愛会病院 三宅 謙太郎

病院の中で“人ととのつながりをデザインする”ためには、患者、職員がまだ気づいていないイノベーションを発見し、新しいサービスを創造し、提供することが必要です。

5年前、当院は赤字経営でした。「変わるのは今だ！」という意思をもって、医療・介護サービスの領域において過去の延長ではないイノベーションをデザインし変革を求めてきました。マグネットホスピタルを目指し、患者からだけでなく、病院で働いている医療従事者からも求められる病院になるために、安定した病院の経営をデザインし、選ばれる病院であり続けることが必要なのです。

スタッフ間の業務支援を考慮した、明るくわかりやすい空間づくりや、外に発信することにも力を注ぎました。そこにはデザインスタッフのスキルも必要でした。当院の弱みであった、人・モノ・金の不足に対する変革と未來のデザインしたことにより、現在の病院運営につながっています。

